

ゆい ちゅうぶ

新
シリーズ

健康あるある

睡眠と検査 睡眠時無呼吸症候群

2016

11
vol.46



2016年9月1日 HCU病棟開設式テープカットの模様

pickup!

HCU(ハイケアユニット)稼働!

【催し物のご案内】 ······

11/9(水) 「がんを知ろう」イベントINうるみん

11/22(火) 第84回ゆんたく会 第3会議室 14:00~16:00

12/20(火) 第85回ゆんたく会 第3会議室 14:00~16:00

12/23(金) 院内クリスマスコンサート

[地域連携総合支援センター便り]
[健康室便り]

pickup!

HCU(ハイケアユニット)稼働!



2016年9月1日、

新しくHCU病棟(ハイケアユニット、高度治療室)
病床数8床を開設しました。

場所は、5階西病棟にあり、病室の一部を改築設置しました。



これまで重篤な患者さんは、ICU(集中治療室)へ入室し集中治療を受けていました。しかし当院では救急室などから毎日のように重症の患者さんが入院することがあり、早めに一般病棟に転室することもありました。

HCUは、ICUと一般病棟の中間の病棟で、全身麻酔手術後の患者さんや呼吸器疾患で酸素療法をしている方、心臓疾患で持続点滴している方や心臓カテーテル検査後の患者さんを対象としています。より迅速にケアを提供でき安心して治療を受けていただけます。

一般病棟との違いは、看護師の数です。一般病棟は患者さん7人に対し1人以上の配置ですが、HCUは患者さん4人に対し1人以上の配置となっていますので、よりきめ細やかな看護を提供することができます。HCUでのケアにより状態が回復した患者さんは一般病棟へ転室となります。

またHCUでは医師や、看護師、理学療法士、栄養士などの各専門科が連携協力し順調な回復が得られるよう努めています。

HCU室長(医師 久島昌弘)はじめ、選ばれし初代看護師14名が力を合わせ安心・安全で丁寧な看護を提供できるよう努力して参ります。

開設したばかりですが、HCUについてお気づきの点がありましたら、ご遠慮なくお声をかけてくださいますようお願いいたします。

(HCU師長 本仲 寛美)

地域連携 総合支援センター 便り

3号

入院の際はスムーズな入院ができるように、入院前に入院支援室で細やかな説明を行い、入院当日に病棟へ案内しています。入院後は病棟退院支援室が設置されました。



同じ部屋で多職種による情報交換が行え、笑顔が絶えない入退院支援室です！

今回は入退院支援室についてご紹介いたします。

中部病院は急性期病院として緊急、重篤な状態にある患者さんを24時間受け入れています。入院が必要な患者さんをいつでも受け入れるために、病棟にベッドを確保する必要があります。そのため入院した患者さんの早期回復を目指して、医師、看護師、理学療法士など多職種が協働してケアにあたっています。さらに患者さんが住み慣れた場所に早期に帰れるよう平成28年4月に入院支援室が設置されました。

家族と面談し、退院後の生活等の意向を聞き、医師、病棟看護師、ソーシャルワーカーとともににより良い療養環境を整えるようにしています。患者さんが安心して家に帰るためには、周辺病院や施設等との連携が重要であり、在宅までを見据えたケアをより充実させたいと頑張っています。

場所は本館2階、62番【地域連携総合支援センター】内にあります。

患者さんやご家族が入院中、退院後の療養生活などに不安、相談したいことがありますたらお気軽にお声かけください。



電子カルテ導入と複雑化するパスワード

当院では2016年10月の電子カルテの導入に際し、厚労省のガイドラインに沿った一定のセキュリティをクリアするため、院内の全職員のパスワードを更新することになった。最大の難関は、職員に「lvQ5_VUF」のような一定以上の複雑さを持ったパスワードを使用してもらうことだ。電子カルテはこれより簡単なパスワードは認めないので、これまで簡単なパスワードを使っていた職員にはハードルがぐんと上がる。さてどうやって許容してもらうのか。

考えた末、先のような複雑なパスワードは「これをえ」と押しつけられてもなかなか覚えられないだろうから、「十分に複雑だが、自分で覚えられるパスワードを自作する方法」を教えるパスワード作成演習を行うことにした。

演習用の資料を作り、管理者会議、医局会、各委員会のミーティングに割り込んだり、定時開催したりして、全ユーザーの20%程度が受講した。受講者には好評で「目からうろこが落ちた」「役に立つ」などの評価が多くかった。「やり方はどん

どん広めて下さい」と参加者にお願いした。

10月3日の本稼働前に「事前入力」という準備期間があり、その時点で全ユーザーにパスワード変更を「強要」した。事前入力するのはシステム導入に中心的に係わる・または係わらざるを得ない人達なので、その人たちには先に混乱の波を越えてもらって、本稼働での混乱を減らしたいと考えたからだ。

すでに本稼働したが、パスワードによる大混乱の話は耳にしない。講座を受けた人達がパスワードの作り方を広めてくれたのだろうと勝手に想像している。

普段の生活でもパスワードを設定することが多々あるので、応用してくだされば幸いである。普段の生活でもパスワードを設定するがあれば、こういう手法を応用してもらってもよいと思う。

皆さまご協力ありがとうございました。

医療情報科部長
久島 昌弘

睡眠と検査 睡眠時無呼吸症候群

健康 あるある



皆さんは普段よく眠れていますか？ 充分な睡眠時間をとつても、日中眠くてたまらなくなったりすることはありますか？ その原因は、「睡眠時無呼吸症候群」が関係しているかもしれません。今日は、睡眠に関する検査のお話をしたいと思います。

睡眠時無呼吸症候群は、寝ている間に呼吸が止まってしまう病気です。なかには1分以上呼吸がとまる人もいます。眠っている間に何回も無呼吸になると、充分な睡眠をとることができず、仕事や運転などの日常生活に支障が出てきます。呼吸が止まるのは睡眠中であるため、自分では気づきにくいのも特徴です。

睡眠時無呼吸症候群の検査には、簡易検査と精密検査があります。簡易検査は、手と鼻にセンサーをつけ、家でいつもと同じように眠ります。データを病院で解析して、無呼吸になつていなかを調べます。精密検査は病院で1泊して、手と鼻のほかに脳波や

人生の3分の1は睡眠です。居眠りが原因で取り返しのつかない事故を起こさないため、快適な生活を送るために、自分の睡眠を見直してみませんか？

Have a nice Dream!

検査科 田盛仁

総務課 東恩納有香



観月会



「ちゅうぶshow」では中部病院ならではの取り組みをこっそり紹介します。



病院歳時記

（今回は当院広報編集担当より）

広報編集担当 玉城三千代

とうとう電子化となりました。当院では去った10月2日午後2時、「紙カル」から「電子カルテ」に変更しました。現在はまだ稼働したばかりで、不慣れな点もあり患者様には大変、迷惑をおかけしております。私が転勤したばかり（5年前）から「2年後に電子カルテに変わる」と言われつづけ、導入プロジェクトが始動したのが約2年前でした。プロジェクトに直接かかわることができやつと溝を着けました。でも、まだ操作に慣れず、運用を確認している状況もあり紙が電子化となるどう変わるの?」と手探り状態の毎日です。「紙」へ記載しない代わりに、パソコンのカルテへ入力しうる姿は、皆さんにはどう映っているのでしょうか？世の中がデジタル化する中で、病院もどんどんIT化は進む一方ですが、患者様へは「こ気分はいかがですか」「何かお困りなことはないでしょうか」と声をかけ職員同士でも笑顔で声かけあつて、確認・話し合える職場にしていきたいものです。しかもつ面でパソコンに向かう職員がいまさら遠慮せずお声をおかけください。

沖縄県立中部病院へのお問合せ

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281
TEL: 098-973-4111(代)

FAX:[代表] 098-973-2703
[地域連携室] 098-982-6568

沖縄県立中部病院

検索

ホームページ <http://www.hosp.pref.okinawa.jp/chubu/>

